

3 高津の自衛隊演習場内「馬頭塚」の石造物

藤 由美

はじめに

2023年3月2日、旧高津村の村域であった自衛隊習志野演習場内の「馬頭塚」の石造物調査を行った。字宮ノ前の三山道沿いにあるこの塚は、高さ約3mの円形の塚で、2基の青面金剛像庚申塔と、手洗石がある。(馬頭塚と通称されるが、馬頭観音塔はない。)

本報告では、3基の石造物調査記録カード(表1.2.3)を掲載する。「馬頭塚」の立地とこれらの石造物の解説については、『史談八千代』29号(2004年 八千代市郷土歴史研究会)の拙文「高津のムラ境を祀る民俗」を参照いただきたい。

1. 寛政四年銘の青面金剛像庚申塔

総高122cm。六臂青面金剛像は左手に輪宝・弓・縹索を、右手に三叉戟・矢と剣または金剛杵らしきものを持ち、どくろの首飾りをまとい、邪鬼を踏む。杵下に三猿を配する。両側面に蓮の浮彫りを施す丁寧な造りの石塔である。「庚申菩薩」の主尊名は珍しい。

表1 享保五年銘庚申塔 調査記録カード

No.1	市史 No.1-27	庚申塔	造立年月日：享保5・10・吉(1720)	
像容：青面金剛		形状：笠付角柱型	法量：H122cm W52cm D47cm	
銘文：奉待庚申菩薩諸願成就処 結衆四拾五人				
	左面	正面	右面	
	(蓮のレリーフ)	(月) 享保 五 庚子 天十月吉旦日	(日) 奉待 庚申菩薩諸願成就処	(蓮のレリーフ)
	台石			
五人		四拾	結衆	

